



桜だより



2023年3月16日発行

感謝

明日、卒業式・修了式を迎えます。今年度はウィズコロナでの学校運営、そして、アフターコロナを見据えた学校運営にチャレンジした1年間でした。保護者の皆様のご協力を得ながら、本日まで目標通り進めることができたことに感謝申し上げます。子どもたちにとっても厳しい環境下でしたが、皆逞しく成長することができました。大変にありがとうございます。新年度からは、新たな日学のチャレンジが始まりますが、どうかこれまで同様に、日学を支え、応援していただければと願っております。



私が教師になった当時、教育現場は校内暴力や家庭内暴力がはびこり、子どもたちが荒れていました。そんな時、ある雑誌のコラムに、「歴史のある子は非行に走らない」とあったことを受け、学級通信を書きはじめました。そこには、子どもたちの学校生活の様子や、授業で取り組んだ作品など、子どもたちの日々の出来事を掲載しました。そして、その子どもたちの歴史を本にして渡しました。久しぶりに教え子と話をすると、今でもその学級通信を大事に持っていてくれ、時々読み返すそうです。小学生時代のたった1年間ではありますが、そこには友だちと共に精一杯過ごした歴史が刻まれていて、大人になってからも“頑張ろう”と思うエネルギーになるそうです。担任を離れて管理職になってからは、学校だよりとして、学校の子どもたちの様子を綴らせていただきました。特にこの3年間はコロナ禍もあり、子どもたちにとっても大変な時期であったと思います。「桜だより」には、子どもたちと共にコロナ禍を乗り越えながら、楽しく過ごした学校生活の様子を記してきました。

子どもたちには、これからもこのリオ日学での貴重な経験を誇りに、大きく成長してほしいと願っております。



環境活動家 谷口たかひさ氏来校

2日(木)、環境活動家として世界的に活躍されている谷口さんにご来校いただき、環境問題についてのお話を伺いました。谷口さんは「みんなが知れば必ずかわる」をモットーに、気候危機の発信や講演を行われています。「環境問題」は「平和」と大きく関わっているとお話を伺い、他人ごとではなく自分に何ができるのかを真剣に考えていこうと思いました。子どもたちにとっても良い刺激となりました。



百人一首大会

昨年度はコロナ感染防止の観点から、個人戦のカルタ会となりましたが、今回は、個人戦に加え対戦型の源平戦も行いました。子どもたちは上の句が読まれるとすぐに札を取り、大変に盛り上がりました。日本人学校の存在意義を忘れず、日本文化の継承を今後も大切にしていきます。百人一首大会が、日学の恒例行事となるよう次年度に繋げていきたいと思っております。





álbum de foto

さよなら遠足

~para Petrópolis~

3日（金）にさよなら遠足を実施しました。かつてリオが首都だった時代の避暑地として栄えたペトロポリスを訪れ、ブラジルの歴史を学びました。当日は晴天に恵まれ、楽しい思い出をたくさん作ることができました。



<Palácio Quitandinha>



<Museu Imperial>



<Restaurante Paladar>



<Casa de Santos Dumont>



<Catedral São Pedro de Alcântara>



帰任します

渡辺稔校長と渡邊篤教諭が、本校での3年間の勤務を終え帰任いたします。この3年間はコロナ禍のため、厳しい環境下での勤務となりましたが、皆様のお力をお借りしながら精一杯働かせていただきました。誠にありがとうございました。リオ日学を離れますが、益々の発展をお祈りしております。<(_)>